

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	わかゆり学園 児童発達支援事業所		
○保護者評価実施期間	R 8年1月13日		～ R 8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	R 8年1月13日		～ R 8年1月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月2日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	0歳児(満1歳)から5歳児まで親子登園日を設け、子どもの支援だけでなく保護者支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキンシップ遊びなど、親子関係の愛着形成につながる遊びを親子で行っている。</li> <li>・保護者の困り感や不安感を伺い、どうしたらより良くなるのか一緒に考えている。また、保護者のお話を伺うことで負担感の軽減に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者同士が話し合えたり学び合える場(保護者会、保護者学習会など)を設定する。</li> </ul>
2	ペアレント・プログラムを実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者同士が相談ができるように、横のつながりを意識して支援している。</li> <li>・外国人の保護者には、簡略化して1回の受講で伝わるように内容を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全6回のペアレント・プログラムに参加できるのか不安な保護者が多く、希望者が増えなかったため、伝えたいことをわかりやすく簡略化し、参加しやすい内容に変えて、希望者が増えるようにしていきたい。</li> </ul>
3	お子さんに合わせた給食を提供し、食事指導を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さんの発達や身体の状態に合わせ、姿勢(座位保持椅子など)や環境(状況に合わせてパーテーションで区切るなど)、形状(ミキサー食、刻み食、とろみ使用など)、提供の仕方(量の調整、苦手な物を取り除くなど)の工夫をしている。</li> <li>・ご自宅や外食先での様子をお聞きしながら、無理なく食べ進められるように配慮している。</li> <li>・専門職(PT、OTなど)のアドバイスを活かす。</li> <li>・食物アレルギーのあるお子さんの保護者と学園の管理栄養士が毎月面談をして、安全な提供に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さんが通っている食事訓練に同行したり、保護者に訓練の動画を見せてもらい、よりお子さんに合った給食の提供を目指す。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	身体発達に遅れのある子どものクラスが2階に配置されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・階段での移動で、子どもが転倒・怪我をしてしまった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立歩行をしていたとしても、身体発達に配慮が必要なクラスの子どもは、階の移動はエレベーターを使用する。</li> </ul>
2	常駐の専門職がおらず、常に情報共有をすることが難しい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常駐の専門職を配置することが難しい状況。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要点を事前に検討し、非常勤の専門職にアドバイスをいただくようにする。</li> <li>・通院先の訓練に職員が同行し、家庭と共通認識をもって、支援ができるようにしていく。</li> </ul>
3	成人施設と同じ給食メニューのため、子ども向けではない献立の時もある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人と児童の給食を分けて作ることは難しい状況。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食の提供方法等を管理栄養士と相談していく。</li> <li>・ご自宅ではあまり食べない献立を給食で体験し、食の幅を広げていく。</li> <li>・喉に詰まりやすい豆類の提供をやめたり、ミニトマトやうずらの卵等に切れ目を入れたり、子どもが食べやすいよう工夫していく。</li> </ul>

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	わかゆり学園 児童発達支援事業所					公表日	令和8年 3月13日				
					利用児童数	13名		回収数	10名		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	0	0	0		クラスの数によって配慮をしてスペースを確保し、工夫をしながら活動の提供を行ってまいります。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	2	0	0		職員の配置については場面によっては応援体制をとりながら国の配置基準以上の職員数で支援をしています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	0	1	0	肢体不自由児の部屋が2階にあり大変。	2階に肢体不自由児のお部屋の設定となっておりご不便をおかけしております。エレベーターを使用しながら安全に移動をしております。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	1	0	0		保育終了後、使用した部屋や玩具等は全て消毒をしています。引き続き心地よく過ごせる環境にしております。			
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	2	0	0		職員一人一人が専門性を高められるよう研修の充実を図ってまいります。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	0	0	0		支援プログラムをホームページにアップしています。支援プログラムに基づき、支援を提供してまいります。			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	0	0	0		お子様のご様子や保護者様とお話をしながら個別支援計画の作成を行ってまいります。			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	1	0	0		引き続き具体的な支援内容が設定できるよう努めてまいります。			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	0	0	0		児童発達支援ガイドラインに基づき、児童発達支援計画を作成しています。適切な支援を提供してまいります。			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	0	0	0		活動プログラムについては更に充実できるように検討をしております。			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2	1	2		年長児の交流保育が実施されています。地域の子どもの交流については検討をしております。			
保護 者へ の説 明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	1	0	0		引き続き、丁寧な説明を行ってまいります。			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	0	0	0		引き続き、丁寧な説明を行ってまいります。			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1	0	3		今年度ペアレントプログラムを希望者に実施しました。家族支援プログラムや保護者向けの研修会等を充実できるよう検討してまいります。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	10	0	0	0		親子登園にご協力いただきありがとうございます。お子様の状況等は利用時にお話をしながら共通理解を図ってまいります。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	1	0	0		親子登園等で保護者様とお話をする時間を設けてまいります。			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	0	0	0		今後もお子様の状況を確認しながら保護者の方の思いを大切にしております。			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	1	0	2		クラスごとの交流はありますが、全体の保護者会の実施はありませんでした。保護者の交流できる機会を検討してまいります。また、家族参観等できょうだい参加について検討してまいります。			
19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	0	0	0		ご相談やその申し入れに対して迅速かつ適切に対応してまいります。				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	0	0	1	連絡帳やお電話、メール、通知文等で情報伝達を引き続き行ってまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	2	0	0	わかゆり通信や通知文等でお知らせをしています。また、自己評価の結果等は掲示板に掲示するとともにホームページにて公表をいたします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1	0	0	各種マニュアルについては策定されており、救命講習、防犯講座を職員は受講しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	0	0	1	毎月避難訓練を実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	0	0	0	安全計画については掲示しており、各クラスにもファイリングしております。計画に基づき安全な保育を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	0	0	0	引き続き、事故（怪我）が起きた時にはすぐにご連絡をし、状況説明をしております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10	0	0	0	今後もお子様の気持ちに寄り添い、安心感をもって通所できるよう努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	0	0	0	お子様の気持ちに寄り添い、楽しく通えるよう、努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	0	0	0	保護者の皆様のご意見を参考にし、より良い事業所になるよう努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		わかゆり学園 児童発達支援事業所		公表日		令和8年3月13日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	・指導訓練室は利用人数に対して、広すぎず狭すぎない集中しやすい環境になっていると考える。身体を沢山動かしたい時には、戸外遊びを行っている。 ・パーティションなどを利用し、活動に応じて部屋を区切り広さを調節するなどの工夫を行っている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	・職員間で連携して、安全面に配慮しつつも保育の中で保護者とお話しをすることが出来ている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	・身体障害児クラスが2階にあり、エレベーターを利用して移動している。写真や絵カードを利用して次の活動を伝えている。 ・一日の流れをホワイトボードに記入し、可視化している。 子どもに合わせて、絵カード・写真・実物等提示し、わかりやすく伝えている。	階段での転倒の事故が発生して今しました。子どもの移動を安全に行うため、エレベーターの利用、職員の配置等を見直し、再発防止に努めてまいります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	・経年劣化はみられるが、毎日清掃して心地よく過ごせるように配慮している。改善が必要だと思う点は、環境委員に伝え、修繕をしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	・利用していない保育室や相談室を使用している。 ・クールダウンが必要と思われる場合は、出来る限り配慮している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	0	・保育後に職員間で情報共有を行っている。 ・定期的に支援会議等をして振り返りをしている。その日のうちに、必要な関わりを職員間で共有している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	・保護者の事業所評価の結果を職員全員で共有し、改善策を考え実行している。 ・参考にして、必要な場合は業務改善につなげている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	・普段から業務について話し合い、より良い方法を考え改善している。 ・毎日のミーティングの中で、必要な環境整備や、ヒヤリハット等を確認・共有している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	10		・外部評価については行っていないため課題となっている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	・園内研修の他、県や市で行っている研修や外部研修に積極的に参加し、内容を職員間で共有している。 ・外部の研修に参加させて頂ける機会がある。園内でも保健衛生ケアの研修やPTの研修・精神科の研修・防犯研修等の機会があり、正規職員は全員参加させて頂いている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	・川口市ホームページで公開されている。保護者にも公開していることがわかりやすいよう、年度初めの説明会等で伝えると思う。 ・ホームページに公表されており、必要な方が確認できるようになっている。また、6か月ごとに個別支援計画で個人的な支援プログラムを提示している。		

適切な支援の提供	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0	・保護者から聞き取りし、保護者からの希望だけでなく、子ども本人が何がしたいと思っているのかも伺っている。本人・保護者希望と、職員の見立てを参考に、個別支援計画を立案している。 ・子どもの様子を日誌や記録に残し、成長を確認できるようにしている。また、個別支援計画を作成する前には、保護者の方と成長を確認し、課題を一緒に考える機会を設けている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	1	・担当職員が会議に参加して検討している。 ・個別支援計画を作成する際には会議を行い、子どもにとって必要な課題を共通確認している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1	・定期的に会議を行い必要な支援を検討している。登園状況により、計画を柔軟に変更し、実施することもある。	・情報共有が遅れていることがある。職員がそろっていない状態でも情報共有がしっかりできるよう、ロゴチャットや連絡ノートの活用等をしてタイムラグが起きないようにしていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	・支援計画に対しての行動や、5領域の発達について個々に記録し、定期的な発達検査を行って確認している。 ・年に1度、子どもの状況に合わせ太田ステージやKIDS・発達検査等を活用し、アセスメントを行っている。また、その結果を参考に必要な支援を検討している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0	児童発達支援計画には、保護者にわかりやすい言葉で具体的な支援内容が記入されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	・保育計画会議を定期的に行い、確認合っている。 ・定期的に会議を行い、多角的な視点で必要な活動プログラムが検討されている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	・その都度、集団や個々の発達に合った活動になるよう、柔軟に対応している。 ・固定化されていることで安心するお子さんもいるが、ある程度流動的にして、適応できるように関わり（視覚支援等）をするよう配慮している。同じプログラムだとしてもねらいを変えて実施する等している。（その際保護者にねらいを伝えることを大切にしている。）	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	・集団での活動の中で、個々の目標の活動を行っている。 ・支援計画を意識して、活動を組み立てている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・前日の保育後と当日の朝、クラス担任で話し合い、情報共有している。 ・朝のミーティングで、その日の動きや役割分担・注意事項を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1	・毎回話し合いをしている。 ・ミーティングを行い、上手くいった誘い掛けやヒヤリハット等を確認し、保育に活かしている。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	・毎日、クラスの保育日誌を記入し、クラス担任だけでなく、児童発達支援管理責任者や副園長と共有し、検証・改善に努めている。 ・毎日記録し、今後の関わりにつなげている。		
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	・半年以内にモニタリングを行い、発達の確認や目標の見直しを行っている。 ・保護者とお話しをしながら、必要な場合は適宜見直しを行っている。		

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達管理責任者が参加している。</li> <li>・相談支援事業所とは、定期的にモニタリングを行っている。</li> <li>関係機関との会議が必要な場合には、子供の状況をよく知る人物が参加している。</li> </ul>	相談支援専門員が入っていない人も多いため、会議が開かれることは少ない。関係機関との連携はわかりやりからとるように意識をし、連携が図れるようにしている。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と都度連絡を取り合い、情報共有して利用児や家族を支えている。</li> <li>・保育所を利用している家庭:必要に応じて、見学・情報共有を行っている。他事業所:必要に応じて、見学や情報共有を行っている。</li> </ul>	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に移行支援の希望があるか確認し、子どもの発達段階や学園で行ってきた有効な手立て等を移行支援計画書に記入して伝え、スムーズな移行を目指している。また、保護者の不安感に寄り添い、具体的にどのような準備が必要なのかなど、一緒に考えている。</li> <li>・保育所へ移行を希望している家庭には、移行支援を行っている（希望者）。</li> </ul>	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スムーズに就学先に移行できるよう、移行支援計画書を作成し、学校側に伝えている。</li> <li>・希望する場合には、移行支援を行い、情報共有をしている。</li> </ul> 就学後に特別支援学校より、問い合わせがある場合もあるため、状況を知る人物が対応している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	-	-		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	-	-		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	-	-		
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかり学園に児童発達支援センターも併設している。学園内の職員や相談支援部門などに相談している。</li> <li>・担当職員が、他事業所と交流する機会を積極的に設けて下さっている。</li> </ul>	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年長の希望者には交流保育の機会がある。</li> <li>また、今年度に関しては地域の保育所や小学校が園庭や遊戯室を利用してくださり、交流できる機会があった。</li> <li>・必要に応じて交流保育に行く親子に職員が同行している。</li> </ul>	交流の場は少ないため、今後どのような形で広げていけるか検討をしていく。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子登園時や電話で、子どもの様子や変化を伝えている。また、保育記録ノートを活用し、家庭からや職員から伝えたいことを記入している。</li> <li>・子どもの成長に目を向け、保護者と共有することを大切にしている。子どもの発達や課題を十分に理解してくださる保護者の方も多い。</li> <li>・母子登園時には、保護者と積極的にコミュニケーションをとって、子どもの単独登園時の姿を伝えたり、家庭での様子を教えてもらったりし、子どもの様子、発達状況などを共有している。</li> </ul>		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレント・プログラムを実施し、希望者が参加。また、保護者学習会で就学についてや、就学後の支援、専門職の勉強会を行っている。先輩保護者に来園していただき、就学後の学校の生活について生の声を聞ける機会も設けている。</li> <li>・希望者にはペアレントプログラムの機会がある。今年度は年齢制限があったため、低年齢に広げてよいのではないかと。また、父親も参加できるプログラムがあってもよいか。</li> </ul>	ペアレントプログラムの開催について、より保護者が参加しやすいように検討をしています。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	・年度初めや入園時に副園長から説明をしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	・保護者に希望を記入してもらうだけでなく、個別面談を設けている。 ・子どもの取り組みたいと思っていること・楽しんでいることを確認する機会を設け、支援計画に明示している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0	・個別面談で説明を行い、説明日と保護者のサインをいただいている。 ・児童発達支援管理責任者より丁寧に説明して、同意を頂いている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	・親子登園時に保護者から相談があれば臨機応変にその都度対応している。また、認定心理師がカウンセリングを行っている。 ・保育の中で育児相談を受ける機会がある。必要な場合は、個別に面談の機会を設けている。 ・母子で登園してくれた際に積極的にコミュニケーションをとり、悩みや相談を話しやすい環境を作るよう心掛けている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	0	・保護者会は以前存在したが、保護者負担増から廃止となった経緯がある。クラスの保護者が全員登園して顔を合わせられる日を毎月設定し、交流する機会を設ける努力している。 ・おしゃべり会等、保護者同士で関わる機会を保育の中で設けている。また、行事ではきょうだいで交流する機会が設けられている。 ・行事では兄弟の参加も認め、兄弟同士で交流できるような保育も展開している。	きょうだいだけにスポットを当てた行事はしていない。きょうだい児がまだ小さく、悩み等を話し合うことは難しいが、保護者ときょうだい児と一緒に遊ぶ機会を作れるか、検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・臨機応変に対応し、迅速に対応している。 ・相談があった場合は適切に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	・毎月お知らせを作成し、学園の活動を伝えている。また、行事についてその都度お知らせを作成して配布している。 ・月に1度わかゆり通信を発行している。園だよりには、必要な情報が発信されている。	HPやSNSの活用は出来ていないため、今後検討をしていく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	・実物や写真、絵カードなど利用して伝えている。また、外国籍の保護者に対して、翻訳アプリを使用して伝えたり、メールで伝える等、工夫している。 ・子どもの気持ちを代弁したり、保護者の想いを傾聴する機会を設ける。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	1	・年に1度公開支援を行い、併用先や関係機関の担当者に保育を公開している。また、申し出があった保育所や幼稚園、併用先、相談支援専門員等、見学を受け入れている。	以前、学園祭を行っていたこともあるが、現在は地域住民を招待することはできていない。今後検討が必要
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	・ヒヤリ・ハット事例を共有し、事故防止に努めている。防犯講座や救急救命研修を受講したり、手の洗い方や嘔吐処理研修を行って感染症対策もしている。 ・月に一度避難訓練を実施している。また、マニュアルに関しては廊下に掲示し、保護者の方がいつでも見れるように工夫している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	・毎月避難訓練を行い、定期的に総合防災訓練を行って消火器訓練をしている。 ・月に1回、火災や地震を想定した避難訓練を行い緊急時に備えている。	

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス担任だけでなく、学園の看護師と情報共有している。</li> <li>・入園前に書類にて状況を確認している。発作等ある場合は、必要な対応を確認して、服薬の預かり等している。</li> </ul>	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の指示書を職員間だけでなく学園の栄養士と情報共有し対応している。また、誤食を防ぐため、配膳時の確認を行っている。</li> <li>・現在対象のお子さんが事業所にはいないが、医師の指示書を参考に対応している。</li> </ul>	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	安全計画は作成済み。安全管理が十分できるようなマニュアルを作成している。防犯講座、救急講習会が実施されている。	マニュアルについて、全職員把握できるように定期的に確認、訓練が必要であることから、計画的に実施していきたい。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の子どもの帰り方や誰が迎えに来るかなど、記入して提出してもらっている。</li> <li>・必要に応じて、保護者の方に周知している。</li> </ul>	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリ・ハットはその日のうちに職員間で共有し、対策を考えている。</li> <li>・ミーティング内で共有している。</li> </ul>	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に虐待防止研修を受講している。</li> <li>・定期的に虐待防止研修を実施し、虐待が行われていないかアンケートを行っている。</li> <li>・虐待防止委員会が月1回開催されている。</li> </ul>	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止委員会を定期的に開催し、身体拘束が適切かどうか判断している。保護者に説明・同意を得てから、個別支援計画に記載している。今現在、やむを得ず身体拘束を行っている児童はいない。</li> <li>・実施する場合には個別支援計画に明示している。</li> </ul>	